

特定建築物排出量削減計画書

(宛先) 京都府知事 様	平成25年 10月 18日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町601番地	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 学校法人同志社 理事長 水谷 誠

工 事 の 種 別		<input checked="" type="checkbox"/> 新築		<input type="checkbox"/> 増築		
工事着工予定年月日		平成 25 年 11 月 1 日				
工事完了予定年月日		平成 26 年 11 月 30 日				
特定建築物 の概要	名 称	複合的研究施設（京田辺校地）建築工事				
	所 在 地	京田辺市多々羅都谷1-3他				
	構 造	R C 造	一 部 S 造	階 数	地 上 4 階 地 下 階	
	敷 地 面 積	562,687.47 平方メートル		高 さ	21.49メートル	
	建 築 面 積	1,600.22 平方メートル		床 面 積 の 合 計 (増築部分の床面積)	5556.40平方メートル 平方メートル	
	用途別の床面積	住 宅				
		ホ テ ル 等				
		病 院 等				
		物品販売業を営む店舗等				
		事 務 所 等				
学 校 等		5556.40平方メートル				
飲 食 店 等						
集 会 所 等						
工 場 等						
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果		BEE = 1.6 ラ = 7A				

府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	①第11条の2第1号ア該当木材等 0.50立方メートル ②第11条の2第1号イ該当木材等 立方メートル ③第11条の2第2号該当木材等 立方メートル ④第11条の2第3号該当木材等 立方メートル 府内産木材等の使用量の合計量 0.50立方メートル (①+②+③+④)
	使用する用途	造り付け家具
	府内産木材等の使用基準量	0.47立方メートル
	当該建築物における木材の使用量の合計量	0.50立方メートル
	木材が使用可能な居室の合計面積	398.88平方メートル
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量
	①太陽光	メガジュール
	②風力	メガジュール
	③水力	メガジュール
	④地熱	メガジュール
	⑤太陽熱	メガジュール
	⑥バイオマス	メガジュール
	⑦その他(ペレットストーブ)	40,000メガジュール
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	40,000メガジュール	
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置		概要
<input checked="" type="checkbox"/> 外壁、屋根又は床の断熱	新省エネ基準に基づいた断熱材仕様	
<input checked="" type="checkbox"/> 窓の断熱又は日射の遮蔽	窓面積の抑制	
<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー消費効率の高い設備の導入	高効率機器の採用	
<input type="checkbox"/> 環境への負荷が少ない材料の利用		
<input checked="" type="checkbox"/> 節水型設備の設置	節水器具及び擬音装置の採用	
<input type="checkbox"/> 雨水、雑排水等の利用		
<input type="checkbox"/> 耐用年数が高い材料及び設備の利用		
<input checked="" type="checkbox"/> 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	清掃性に配慮した仕上材の選定など	
<input checked="" type="checkbox"/> 緑化の実施	既存樹の保存ならびに広場側への植栽、植樹の実施	
<input type="checkbox"/> その他		

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

(1) 再生可能エネルギーを利用するために導入しようとする設備の内容

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第22条第3項の規定により算出した数値を記入の上、その算出の根拠となる資料を添付してください。